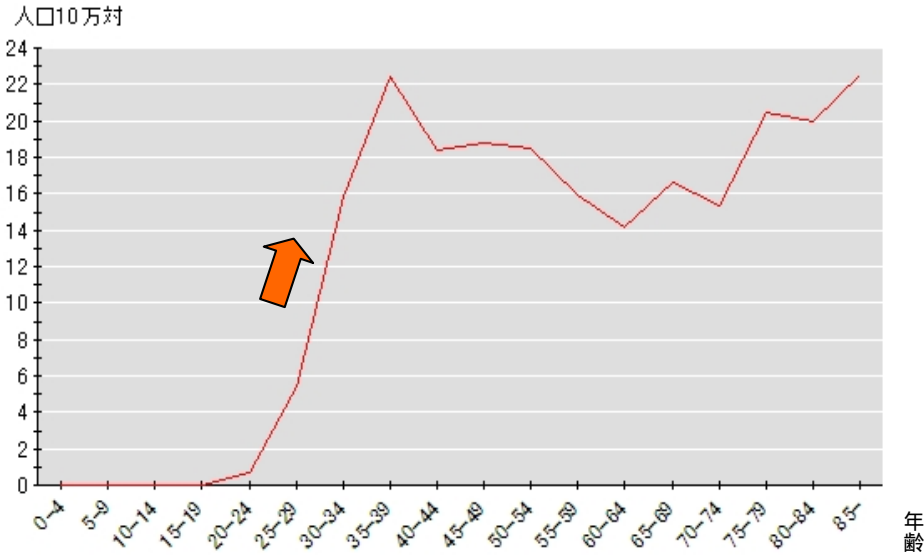


## 20歳を過ぎたら子宮がん検診適齢期

年齢階級別 子宮頸がんの罹患率（2001年）



資料：国立がんセンターがん対策情報センター  
罹患率：ある病気と新たに診断された数

がん検診って中高年のイメージと思っていませんか？

子宮頸がんの罹患率は20代から増加した後、横ばいとなり70代後半から再び増えています。



検査の方法を知っておくと受けやすいですね。お住まいの市や町でも検診をうけられます。

国内で毎年8000人の女性が新たに患者と診断され、2500人が命を落とす『子宮頸がん』。最近には特に、20～30代の若い患者が急増し、死亡率も高くなっています。

しかし、世界では子宮頸がんはすでに予防可能な病気だということをご存知でしょうか？

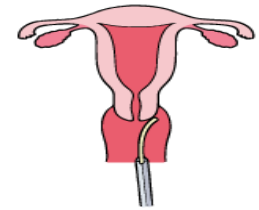
子宮頸がんはヒト・パピローマウイルス（HPV）というウイルス感染が原因で引き起こされることが解明されています。

### 子宮頸がん検診及び子宮がんに関するQ & A

一般に「子宮がん検診」というと、子宮頸がんの検診を意味しています。

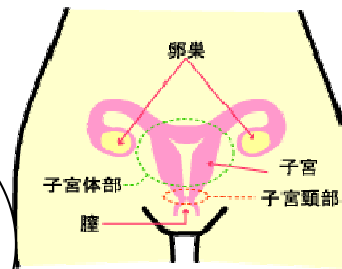
#### Q：子宮頸がんはどんな検査をするのですか？

A：検診では通常、視診のほかに、プラスチックの“へら”や“ブラシ”で外子宮口の表面と頸管内をこすり、採取した細胞をスライドガラスに移して染色し、顕微鏡で観察し、がんがあるかどうか判断します。



#### Q：子宮頸がんと子宮体がんの違いは？

A：子宮頸がんは子宮頸部と呼ばれる子宮の入り口に生じるがんで、子宮体がんは子宮体部と呼ばれる胎児が育つ場所に生じるがんです。発生する場所が異なるだけでなく、原因やなりやすい年齢も異なります。



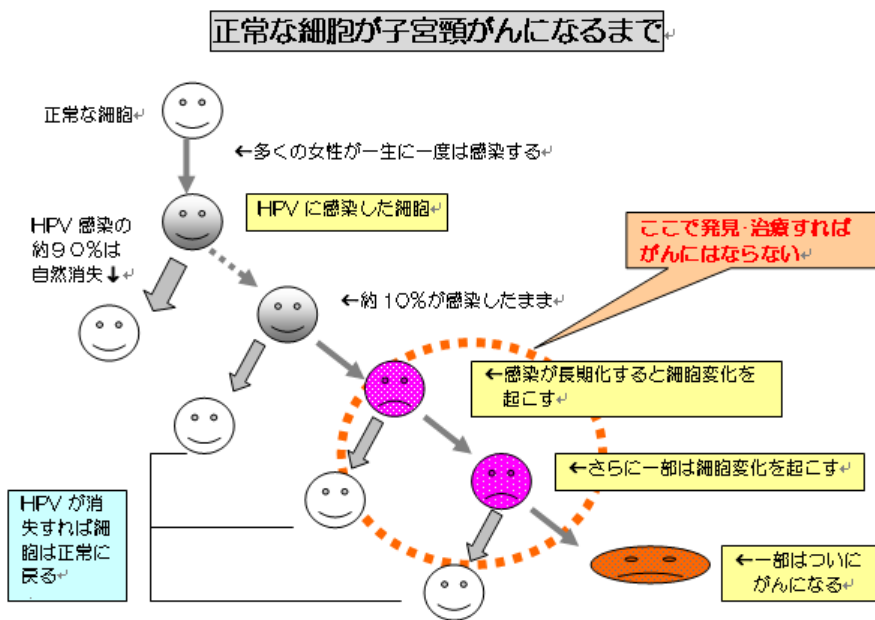
## Q：HPVとは？

A：ヒト・パピローマウイルス（HPV）には100以上ものタイプがありますが、全てのタイプが子宮頸がんの原因になるわけではありません。子宮頸がんは高リスク型HPVと呼ばれている一部のHPVによって引き起こされます。10人に1人くらいはウイルスが排除されずに感染が長期化することがあります。



## Q：HPVは誰でも感染しますか？

A：HPVは性交渉により感染します。このウイルスは性交渉の経験のある女性であれば、誰でも感染したことがあると考えられているとてありふれた存在です。性交経験者の50～80%は少なくとも一度はHPVに感染していると考えられます。



18年9月愛媛県総合保健協会事業説明会資料より

## 体験談

身近な人ががんになると自分も気をつけようという気持ちになりました（40歳代）  
初めて受けましたが、思ったほど検査は痛みもなく、すぐに終わりました（20歳代）

健康増進法では、子宮がん検診は20歳からの受診が定められています。（若いからといって油断は禁物です！！）  
お住まいの市役所、町の保健センター、婦人科のある医療機関で2年に1回は、検診を受けることをお勧めします。  
月経中の方はお問い合わせください

## 【 検診についてのお問い合わせ先 】

集団検診：日程や場所を設定しています  
毎年、申込みが必要です

市町名	担当	電話	備考
宇和島市	保険健康課 保健師	24-1111	費用は左記 にお問合せ 下さい
松野町	保健福祉課 保健師	42-0708	
鬼北町	保健福祉課 保健師	45-1111	
愛南町	保健福祉課 保健師	72-1212	

個別検診：医療機関で検診を受けます  
産科・婦人科のある病院、診療所です。  
（有料）  
直接お問い合わせください

